議員（門　　秀俊）

５番、門　　秀俊、一般質問させて頂きます。

町内における下水道の状況について、一問一答方式でお願い致します。

令和 7 年 1 月 28 日、埼玉県八潮市におきまして那珂川流域下水道の破損が原因と見られる大規模な道路の陥没が発生し、走行中のトラックが転落する事故が発生しました。運転手の男性がいると見られるトラックの運転席部分は下水道管に引き込まれ、救助に至ってない状況です。

また、現地では現在も復旧作業が行われており、復旧の各工程は仮設の排水管によるバイパス管路の併用までに 3 箇月程度かかり、本格的な復旧には、さらに相当長期の時間を要すると聞いています。

四国新聞によりますと、香川県内では三豊市、土庄町、小豆島町を除く 7 市 7 町と県が下水道事業を実施、各家庭から出た生活排水は細い管から太い管へ流れ込んで下水処理場浄化センターに集められ、浄化処理後に海や河口部に流される。

国土交通省の調査では、香川県の下水道の人口当たりの普及率は 47.2%、2023 年度末時点です。全国平均 81.4%や事故の起きた埼玉県 83.6%に比べると低いが、人口の集中している市街地エリアは普及が進んでいる。下水道管は主に道路の地下に埋設されており、生活道路から国道 11 号線やさぬき浜街道などの幹線道路まで人の血管のように張り巡らされている。

埼玉県八潮市の道路陥没は、直径 4.7ｍの大型管が地下 10ｍの深さに埋設されている場所で発生した。香川県などによると県内には今回の事故に及ぶような大型設備はないものの、直径 2ｍ前後の下水道管が地下 10ｍに埋設されている場所もあるという。仮に破損することがあれば、道路の陥没や下水道利用者への影響も懸念されると掲載されてました。

さて、多度津町内においても多度津町が管理する公共事業の下水道管と香川県が管理する流域下水道事業の下水道管が、道路等の下に埋設されているとことと思います。

その状況について、以下 5 点質問させて頂きます。

1 点目、多度津町の管理する公共下水道の管路はどの程度の大きさのものか。また、何キロ程度敷設されているのか、お伺い致します。

建設課長（三谷　勝則）

門議員の多度津町の管理する公共下水道の管路の敷設についてのご質問に答弁をさせて頂きます。

令和5年度末時点における本町の公共下水道事業で埋設している下水道管は、口径の大きいものでは鉄筋コンクリート製の管で管径800ｍｍ、口径の小さいものでは塩化ビニール製の管で管径150ｍｍです。総延長についてはマンホールポンプで圧送する口径75ｍｍのものを含むと約98ｋｍとなっています。以上、答弁とさせて頂きます。

議員（門　　秀俊）

再質問させて頂きます。現在、本町における普及率は何％でしょうか。また、今後、下水道の方は広げていくのでしょうか、お伺い致します。

建設課長（三谷　勝則）

門議員の再質問に答弁をさせて頂きます。令和5年度末の多度津町の下水道処理人口普及率については59.9％です。この率は住民基本台帳上の人口中、下水道に接続することが可能な人数の比率となっております。

ちなみに令和4年度末では同じ59.9で、令和3年度末では60％でほぼ変わりのない数値となっております。多度津町事業計画においては、新たに下水道区域を広げる計画はございません。以上、答弁とさせて頂きます。

議員（門　　秀俊）

有難うございます。次の質問に入ります。

2.今回、埼玉県で発生した下水道の破損について、原因は現在調査中であり、確定はしてないこととは思いますが、当初、色々な報道では、管路が曲がる箇所であること等から硫化水素が発生しやすい管の腐食の原因だったかのような報道がされておりました。

多度津町内においても同じように腐食する可能性が大きいような箇所はあるのでしょうか。また、その腐食の状況について調査を行われているのでしょうか。そのほか、今回の事故を受けて緊急に点検等は実施されたのでしょうか、お伺いします。

建設課長（三谷　勝則）

門議員の腐食状況の調査、緊急点検等の実施についてのご質問に答弁をさせて頂きます。

はじめに、腐食する可能性が高い箇所として、国が「下水道事業のストックマネジメント実施に関するガイドライン2015年版」（令和4年3月改定）において点検・調査対象箇所の選定方法の中で示しております。１．段差、落差の大きい箇所の気相部、２．圧送管の吐出し先部の気相部、３．伏越し部の下流吐出し部の気相部、４．その他腐食の恐れの大きい箇所となっています。

気相部とは管の内部で水に満たされておらず、空気に触れている部分のことです。

本町で、この選定方法に基づき確認したところ、15箇所が腐食の恐れの高い箇所となりました。その大半は圧送管の吐出し先部の気相部となっています。

次に、定期点検については平成27年の下水道法改正により、腐食の恐れの高い下水道管路について5年に1回以上の頻度で点検することが義務付けられており、本町では令和2年度に定期点検を実施し、腐食等の状況はありませんでした。また、次回の点検については令和7年度に実施する予定です。

最後に緊急点検の実施については、埼玉県の道路陥没事故を受けて、国から埼玉県の流域下水道と同程度の規模の管路について緊急点検を実施するよう通知が出されましたが、本町には点検対象規模の下水道管路はないため、実施していません。

現在、本町では定期的に点検を実施していますが、特に老朽化が進んでいる管路については、継続的な点検や調査が必要であると認識しています。計画的に巡視、目視点検等を実施し、早期に腐食などの問題を発見出来るよう、今後も適切に維持管理を進めていきます。以上、答弁とさせて頂きます。

議員（門　　秀俊）

次の質問に入ります。3.腐食する可能性が大きい箇所以外にも老朽化による下水道管の破損や水道管の破損等による住民生活への影響が懸念されているところですが、多度津町、香川県それぞれ管理する下水道管の状況については、それぞれどのような状況か、お伺い致します。

建設課長（三谷　勝則）

門議員の多度津町、香川県が管理する下水道管の状況についてのご質問に答弁をさせて頂きます。

現在、本町の下水道管路については、管路自体の破損等の緊急的な問題は発生しておりませんが、マンホールや鉄蓋等において腐食が見られることがあり、その場合は、適宜交換等の早期対応を実施しています。

また、県が管理する流域下水道幹線の管渠で、町内に埋設されている管路について県に確認したところ、管径は1,100ｍｍから 1,350ｍｍまでのものがあり、総延長は約5.2㎞でございます。

これらは、昭和60年から63年までに敷設されており、約39年が経過しています。

県では平成29年度にテレビカメラにより、全ての管の点検を実施しており、点検の結果、管路の66ｍの区間で管の内部に腐食が見られたことから、改築を要すると判断された箇所について、令和元年度に管内の更生工法による対策工事が実施されています。

また、次回の点検は令和8年度から実施予定と聞いています。以上、答弁とさせて頂きます。

議員（門　　秀俊）

再質問させて頂きます。先ほどの答弁の中で66ｍの区間での改築での費用は幾らかかったのでしょうか。また、補助率、補助金の割合は幾らでしょうか、お伺い致します。

建設課長（三谷　勝則）

門議員の再質問に答弁をさせて頂きます。

先ほど答弁をさせて頂きました県の下水道管の情報なんですが、この66ｍの区間というのは、浜街道、ちょうど宮武建材さんの前あたりの交差点の配管で、口径が約1,300㎜、内部が腐食してるということで、更生工法ということで、管内部で塩ビ管の板状のものを巻きつけた工法で修繕を行っているそうです。また、要した費用については3,700万円程度で、国の補助を使ってるんであれば、約半分が補助になると考えております。以上、答弁とさせて頂きます。

議員（門　　秀俊）

有難うございます。次の質問に入ります。4. 下水道管の耐用年数については50年程度と言われているようですが、多度津町においても、これから耐用年数を迎える管が増えてくると思いますが、その更新計画等はありますでしょうか。また、香川県の管理する流域下水道についての状況と併せてお伺い致します。

建設課長（三谷　勝則）

門議員の耐用年数を超える管が増えてくるが、更新計画等はあるのかについてのご質問に答弁をさせて頂きます。

初めに、本町が管理する下水道管路のうち、最も古い管路が昭和61年度に整備されており、令和5年度末で37年が経過しています。

議員のおっしゃるとおり、一般的に下水道管の耐用年数は約50年とされていますので、現在は本町において耐用年数が50年を超えている下水道管はありません。しかしながら、本町の下水道管の約75％が昭和61年から平成15年までの間に整備されていますので、今後、約20年から30年間で、これらの下水道管が耐用年数を超えることになります。

本町では、現在、管路の更新計画は策定しておりませんが「多度津町流域関連公共下水道事業計画」において、概ね15年の間に1度、テレビカメラによる管渠の点検を実施する計画としており、このテレビカメラ調査の診断結果で、緊急性が高いと判断された管路を修繕や更新の対象とすることとなっています。

また、これと並行して老朽化した管路については、優先的に点検や調査を行い、その結果に基づき、修繕や更新の計画を策定していくことが必要であると考えております。

次に、県の管理する流域下水道については「香川県下水道ストックマネジメント計画」に基づき、点検や調査を実施し、その結果に応じて改築等の更新を実施していく方針となっています。以上、答弁とさせて頂きます。

議員（門　　秀俊）

最後の質問です。全ての下水道管、下水道の管路を更新するとなると多額の費用が必要となってくると思いますが、その費用については、どのような負担になるのでしょうか、お伺い致します。

町長（丸尾　幸雄）

門議員の下水道の管路の更新費用の負担についてのご質問に答弁をさせて頂きます。

議員のおっしゃるとおり、下水道管路の更新には多額の事業費が必要となると想定されております。下水道管路の更新に係る費用については、国が示す下水道管路の更新計画を策定し、国の補助金を活用しながら計画的に進めて行く必要があります。

下水道は地域住民の生活に欠かせないインフラであり、特に今回の埼玉県の道路陥没事故を受けて、下水道事業においても老朽化対策が重大な課題であると再認識しまし

た。

安全で快適な生活環境を維持するためには、下水道の適切な維持管理が不可欠であります。今後も国や県と連携を図り、補助金制度等を活用して財政的な負担を軽減しながら、計画的かつ効率的な更新を進め、持続可能な下水道運営を目指していく必要があると考えております。以上、答弁とさせて頂きます。

議員（門　　秀俊）

有難うございます。本町におきましても町民の方より、道路の破損などの問合せが多数あると思います。

引き続き、適切な維持管理をお願いして、本日の一般質問を終わらせて頂きます。